KRONOS
MUSIC WORKSTATION

EXS EXPANSION SAMPLES

体験版のご紹介

本機には、コルグEXsエクスパンジョン・サンプル・シリーズの体験版を収録しています。EXsライブラリーは、サンプルやプログラム、その他にドラムキットやウェーブ・シーケンスなどが含まれます。

体験版のプログラムなどのサウンドは、初期設定ではサンプルがロードされていないため、正しく発音しません。試聴するためには各EXsサンプルをロードする必要があります。

Note: 体験版のEXsサンプルは、音が一定の周期で消えるように設定されています。それ以外はすべての機能を試すことができます。
* オーソライゼーション・コードをご購入頂くことにより、機能制限を解除することができます。「オーソリゼーション・コードの購入とオーソライズ」（→p.2）をご覧ください。

収録内容とシステム必要条件

以下のEXsが収録されています。

EXs10: Ricky Lawson's "West Coast" Drums

- プログラム: バンクUSER-CC 000–017
- ドラムキット: バンクUSER-D 00–03
- ドラムサンプル: バンクEXs10 0000–2088
- デモ・ソング: S000–001

* 約111MB以上の空き容量

EXs11: Legendary Strings

- プログラム: バンクUSER-BB 000–127
- コンビネーション: バンクUSER-A 000–047
- マルチサンプル: バンクEXs11 0000–0274
- ウェーブ・シーケンス: バンクUSER-B00–USER-E25

* 約609MB以上の空き容量

EXs12: SGX-1 Austrian Piano

- プログラム: バンクUSER-AA 000–031
- マルチサンプル: バンクEXs12 0000–0097
- SGX-1ピアノ・タイプ: 32–47

* 約232MB以上の空き容量

EXs13: Jazz Drums Expansion Kit

- プログラム: バンクUSER-CC 018–065
- ドラムキット: バンクUSER-D 04–15
- ドラムサンプル: バンクEXs13 0000–2125
- デモ・ソング: S000–002

* 約111MB以上の空き容量

* 各EXsのサンプル・データをロードして動作させるには、メモリーに上記の空き容量が必要です。空き容量は、GlobalモードのP0:Basic Setup–KSC Auto-LoadページMemory UsageのFREEで確認することができます。

EXsサンプルをロードして、サウンドを確認する

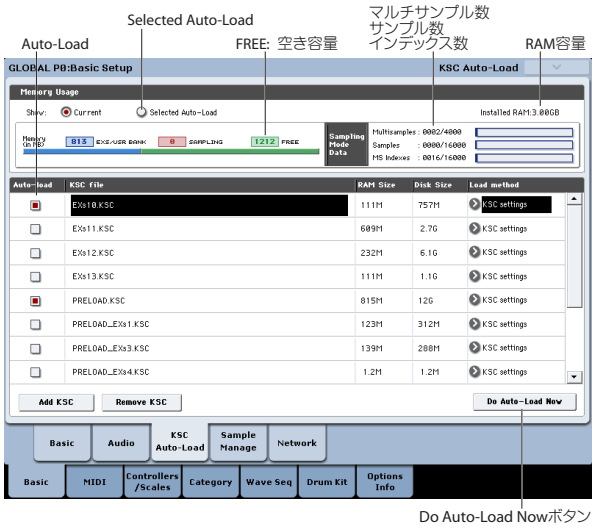
ここでは例としてEXs10: Ricky Lawson's "West Coast" DrumsのEXsサンプルをロードして、プログラムを聴く方法を説明します。

EXs サンプルをインターナル・メモリーにロードする

以下の操作を行うとSamplingモードのすべてのデータが消えます。事前にSamplingモードでサンプリングしたり、WAVファイル等をSanplingモードにロードしたりした場合は、必要に応じてインターナル・ディスクやUSB ストレージ・デバイスへあらかじめセーブしておいてください。

1. [GLOBAL]スイッチを押して、Globalモードに入ります。
2. Basicタブ、その上のKSC　Auto-Loadタブを押して、KSC Auto-Loadページを選びます。
3. ロードするEXsのKSCファイルのAuto-loadチェック・ボックスにチェックを入れます。

   ここでは、EXs10.KSCを選びます。



Note: PRELOAD.KSCは工場出荷時のプログラムやコンビネーションに必要なデータですので、チェックしておきます。

4. Do Auto-Load Nowボタンを押します。

   ダイアログが表示されます。
5. OKボタンを押します。

   メモリー上のすべてのSamplingモード、EXs、およびUser Sample Banksのデータが一度消去され、PRELOAD.KSCとEXs10.KSCがロードされます。この処理にはある程度の時間がかかります。

日本語

Note: Auto-loadチェック・ボックスにチェックが入っているEXsは電源起動時に、自動的にロードされます。必要ない場合はチェックをはずしてください。(→p.3「自動的にEXsサンプルをロードする」)

KSCとは？

* KSCとは、コルグ・サンプル・コレクション (Korg Sample Collection)の略です。KSCファイルにはSamplingモード、EXsやユーザー・サンプル・バンクのマルチサンプル、サンプル、ドラムサンプルなどのサンプル・データへのリンクが記述されています。KSCファイルをロードすることで関連するすべてのサンプル・データをロードすることができます。

ロードしたサウンドを確認する

1. [PROG]スイッチを押して、Programモードに入ります。
2. BANK [I-C]スイッチを押しながら[U-C]スイッチを押します。

   バンクUSER-CCが選ばれます。
3. プログラム・ネームが反転しているのを確認して、テン・キー [0]、[ENTER]スイッチを押して、「000: Ricky Dry/Amb1 Kit SL1,2」を選びます。
4. 鍵盤を弾いて、発音することを確認します。

   [DRUM TRACK]スイッチを押して、鍵盤を押すと、ドラムのフレーズを聴くことができます。

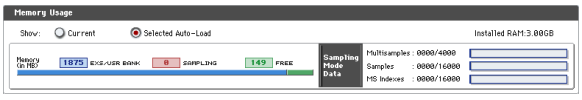
Note: オーソリゼーション・コードが未入力の場合、そのEXsはデモ・モードで動作し、音が周期的に消えます。(→p.2「オーソリゼーション・コードの購入とオーソライズ」)

その他の EXs のサウンドを確認するには

その他の体験版EXsのサウンドを確認するときは、上記の手順で試聴したいKSCファイルをロードして、プログラムやコンビネーションを選んでください。

GlobalモードのKSC Auto-Loadページで、リストで選択しているサンプル・データの総容量やマルチサンプル数、サンプル数、マルチサンプル内のインデックス数が使用できるRAM容量や上限数を超えている場合、Do Auto-Load Nowボタンは薄く表示されて、ロードすることができません。
複数のEXsをチェックした場合は、チェックの数を減らしてください。または「メモリーの空き容量を確保する」(→p.3)の操作を行ってください。

Memory UsageのSelected Auto-Loadラジオ・ボタンをオンにすることで、ロード後の容量を確認することができます。



オーソリゼーション・コードの購入とオーソライズ

オーソリゼーション・コードが入力されていないEXsは、デモ・モードで動作し、音が周期的に消えます。下記の方法で、オーソリゼーション・コードを購入して、オーソライズを行うことによって、デモ版を正規版へアップグレードすることができます。

1. まずはOptions Infoページで「Public ID」を正確に書きとめてください。(0~9の数字とA~Fのアルファベット)オーソリゼーション・コードを購入するためには、このPublic IDが必要です。
2. コンピューターでインターネットへ接続できる環境をお持ちの場合は、次の「インターネットでオーソリゼーション・コードを購入する」をご覧ください。

インターネット環境が整っていない場合は、次の「『コルグお客様相談口』経由でオーソリゼーション・コードを購入する」をご覧ください。

インターネットでオーソリゼーション・コードを購入する

1. Web ブラウザを起動してアドレス欄に以下の URL を入力して、インターネットに接続してください。
   http://www.korg.com/kronos
2. 登録した名前でログインします。

   まだ登録がお済みでない方は、画面の指示にしたがって、ユーザー登録、製品登録をしてください。
3. EXs オプションのオーソリゼーション・コードを画面の指示に従って購入します。
4. 購入手続きが完了すると、オーソリゼーション・コードが表示されます。

   KRONOSを複数台所有している場合は、オーソリゼーション・コードも台数分必要になります。
5. 次の「KRONOS でオプションをオーソライズする」をご覧ください。

「コルグお客様相談口」経由でオーソリゼーション・コードを購入する

1. インターネット環境が整っていない場合は、「コルグお客様相談窓口」へ下記の必要事項をお知らせください。コルグお客様相談窓口の電話番号は、パラメーター・ガイドまたはオペレーション・ガイドの巻末をご覧ください。

- お名前
- 製品名とシリアル・ナンバー
- ご依頼内容：KRONOSオプション・オーソリゼーション・コードの購入
- Public ID

2. オーソリゼーション・コードを購入したら、次の「KRONOSでオプションをオーソライズする」をご覧ください。

KRONOS でオプションをオーソライズする

1. KRONOSのGlobal P6: Options Infoページを表示します。
2. インストールされているオプション・リストの中から、オーソライズするオプションを選びます。
3. Authorize Selectedボタンを押します。

   Authorize Selectedウィンドウが表示されます。
4. オーソリゼーション・コードを入力します。

   ウィンドウにはテキスト・エディット・ダイアログが表示されますので、それを使用してオーソリゼーション・コードを正確に入力します。
5. OKボタンを押します。

   オーソライズが完了します。

   オーソライズしたオプションは、リストにAuthorizedが表示されます。

   デモ・モードのオーディオ制限が解除されます。

メモリーの空き容量を確保する

ロードしているサンプル量によって、EXsを追加してロードするための容量が足りなくなる場合があります。以下の方法で空き容量を確保することができます。

以下の操作を行うとSamplingモードのすべてのデータが消えます。必要に応じて、インターナル・ディスクやUSBストレージ・デバイスへあらかじめセーブしておいてください。

まずは、すべてのRAMとEXsのサンプルを一度アンロードして、工場出荷時のEXsサンプルの状態に戻すと良いでしょう。そして、使用するEXsをロードしてください。

- 「EXsサンプルをインターナル・メモリーにロードする」(→p.1)を参照して、PRELOAD.KSCのAuto-Loadにだけチェックを入れて、Do Auto-Load Nowボタンを押して実行します。工場出荷時のEXsサンプル設定に戻ります。

工場出荷時のEXsサンプルの状態でも、EXsをロードできない場合は、EXs1、3～9の中から、いずれかをアンロードします。

Note: ただし、アンロードしたサンプルを使用したプログラム等は発音しなくなります。サンプルがロードされていないプログラムやコンビネーションでは、ディスプレイに **Samples Not Loaded** が表示されます。

1. PRELOAD.KSCのAuto-Loadのチェックをはずします。
2. 使用するEXsのAuto-Loadチェック・ボックスをチェックします。
3. プリロード・データのうち、ロードするEXs（PRELOAD_EXs1.KSC～PRELOAD_EXs9.KSC）のAuto-Loadチェック・ボックスをチェックしていきます。
4. Memory UsageのSelected Auto-Loadラジオ・ボタンをオンにして、ロード後の容量を確認ながら、調整してください。
5. Do Auto-Load Nowボタンを押して、ロードを実行します。

   KSCファイルの追加または削除に関するすべての変更が適用され、指定されたKSCファイルに関連するサンプル・データがロードされます。この処理にはある程度の時間がかかります。

リストで選択しているサンプル・データの総容量やマルチサンプル数、サンプル数、マルチサンプル内のインデックス数が使用できるメモリー容量や上限数を超えている場合、Do Auto-Load Nowボタンは薄く表示されます。

PRELOAD.KSCについて

プリロード・プログラム、コンビネーションを正しく発音させるためにはPRELOAD.KSCをロードする必要があります。このKSCファイルは、EXs1とEXs5～9のすべて、EXs3とEXs4の一部のサンプルを含んでいます。

PRELOAD_EXs1.KSC～PRELOAD_EXs9.KSCは、PRELOAD.KSCに含まれるEXs1～9を個別にロードするためのKSCファイルです。PRELOAD_EXs1～9（EXs2を除く）をすべてロードすることでもPRELOAD.KSCと同じデータがロードできます。メモリーの空き容量を確保するために、それらのいくつかだけを選んでロードすることもできます。例えば、ドラムもSGX-1ピアノを使っていなければ、EXs6～9をはずすことができます。

Disk モードで Clear オプションを使用したロード

Diskモードでロードするとき、表示されるLoadダイアログの"KSC Allocation"を設定することによって、メモリーに空き容量を確保することができます。

1. [DISK]スイッチを押して、Diskモードに入ります。
2. Fileタブ、Loadタブを押して、Disk–Loadページを選びます。
3. ロードするKSCファイルを選び、Loadボタンを押します。

   各EXs10～13の.KSCファイルはInternal HDD→Korg Optionsフォルダー→各EXsフォルダーの中にあります。
4. Loadダイアログで下記を設定します。

   "KSC Allocation"をClear Sampling Mode Dataに設定すると、Samplingモードのすべてのデータが消去されます（実行する前にエディットしたサンプル・データをセーブしてください）。"KSC Allocation"をClear Allに設定すると、Samplingモードのすべてのデータが消去されると同時に、EXsやUser Sample Banksのデータがアンロードされます。
5. OKボタンを押して、実行します。

自動的にEXsサンプルをロードする

本機を起動したときに、使用したいサンプルを自動的にロードすることができます。

1. [GLOBAL]スイッチを押して、Globalモードに入ります。
2. Basicタブ、その上のKSC Auto-Loadタブを押して、KSC Auto-Loadページを選びます。
3. 起動時に自動的にロードさせるEXsのKSCファイルのAuto-loadチェック・ボックスにチェックを入れます。

これで次の起動時に指定したサンプルが自動的にロードされます。

Note: 起動時にロードするサンプル量によって、起動時間が増減します。

デモ・ソングのロード

EXs10やEXs13はデモ・ソングを付属しています。

手順9で".SNG Allocation"をClearに設定した場合、実行時にエディットしたソングが消えます。インターナル・ディスクやUSBストレージ・デバイスへあらかじめセーブしておいてください。

以下の方法でロードします。

1. 「EXsサンプルをインターナル・メモリーにロードする」（→p.1）を参照して、EXs10またはEXs13をロードします。
2. [Disk]スイッチを押して、Diskモードに入ります。
3. Fileタブ、その上のLoadタブを押して、Disk–Loadページを選びます。
4. "Drive Select"でHDD: INTERNAL HDを選びます。
5. Korg Optionsフォルダーを選び、Openボタンを押します。
6. ロードするEXsフォルダーを選び、Openボタンを押します。
7. EXs10.SNGまたはEXs13.SNGを選びます。
8. Loadボタンを押します。ダイアログが表示されます。
9. デモ・ソングのロード方法を".SNG Allocation"を設定します。Appendはすでにロードされているソングの後ろに、デモ・ソングを追加します。Clearはロードされているソングを消去してS000を先頭にしてロードします。
10. OKボタンを押します。
11. [SEQ]スイッチを押して、Sequencerモードに入り、ソングをプレイバックしてください。

EXsサンプルをアンインストールする

体験版のEXsは削除することができます。サンプル・データは容量が大きいためアンインストールすることによって、他のサンプルやオーディオ・トラックのデータなどのために、インターナル・ディスク（内蔵SSD）の空き容量を増やすことができます。

SSDの空き容量は、DiskモードのDisk–Media Informationページの Free Sizeで確認することができます。

アンインストールした EXs サンプルを再度試聴する場合は、下記URLを参照して体験版をダウンロードし、インストールしてください。http://www.korg.com/kronos

1. [GLOBAL]スイッチを押して、Globalモードに入ります。
2. Options Infoタブを押して、Options Infoページを選びます。
3. Installed Optionsのリストでアンインストールする EXsを選びます。
4. ページ・メニュー・コマンド"Uninstall EXs"を選びます。
   ダイアログが表示されます。
5. OK ボタンを押すと、選択した EXs のすべてのサンプルが削除されます。

各EXsのKSC、PCGなどは、DiskモードのDisk–Utillityページで削除するフォルダーを選び、ページ・メニュー・コマンド"Delete"で削除してください。

Note: EXsのプログラムやコンビネーションを削除するには、イニシャル・プログラム/コンビネーションを上書き保存してください。または、GlobalモードのBasic Setupページでページ・メニュー・コマンド"Set Program User-Bank Type"で初期化するバンクにNo Change以外を設定して実行します。

EXsと工場出荷時のプリロード・サウンドについて

各EXsのプログラムやコンビネーションなどは、工場出荷時のプリロード・プログラムとサンプルがロードされていない場合に、正しく発音しません。Diskモードで、FACTORYフォルダー内のPRELOAD.PCG、PRELOAD.KSCをロードしてください。

ご質問、ご相談について

KRONOSサウンド・ライブラリーについてのご質問、ご相談は、コルグお客様相談窓口へお問い合わせください。

各EXs取扱説明書との手順の相違点

本機のアクセサリー・ディスク2にはダウンロード（DL）版の各EXs取扱説明書が収録されていますが、本機とは以下が異なります。

- DL 版は最初に EXs のサンプル・データをインストールをする必要がありますが、本機ではEXsのサンプル・データは工場出荷時にインストールされているため、インストール作業は必要ありません。
- DL版には各 EXs に .PCG データを同梱しますが、本機にはすべてのEXsのPCGを含んだAll_Options.PCGのみがあります。
- プログラムやコンビネーションなどロードされるバンクとナンバーが異なります。次表を参照してください。

This instrument Bank	This instrument No.	DL Ver. Bank	DL Ver. No.	Contents	Bank Type
Programs					
USER-AA	000–031	USER-G	000–031	EXs12: SGX-1 Austrian Piano	EX*i*
USER-BB	000–127		000–127	EXs11: Legendary Strings	HD-1
USER-CC	000–017		000–017	EXs10: Ricky Lawson's "West Coast" Drums	
	018–065		000–047	EXs13: Jazz Drums Expansion Kit	
Drum Kits					
USER-D	00–03	USER-G	00–03	EXs10: Ricky Lawson's "West Coast" Drums	
	04–15		00–11	EXs13: Jazz Drums Expansion Kit	
Combinations					
USER-A	000–047	USER-G	000–047	EXs11: Legendary Strings	
Multisamples					
EXs11	0000–0274	EXs11	0000–0274	EXs11: Legendary Strings	
EXs12	0000–0097	EXs12	0000–0097	EXs12: SGX-1 Austrian Piano	
Drumsamples					
EXs10	0000–2088	EXs10	0000–2088	EXs10: Ricky Lawson's "West Coast" Drums	
EXs13	0000–2125	EXs13	0000–2125	EXs13: Jazz Drums Expansion Kit	
Wave Sequences					
USER-B, C, D USER-E	00–31 00–25	USER-B, C, D USER-E	00–31 00–25	EXs11: Legendary Strings	
Piano Type					
–	32–47	–	32–47	EXs12: SGX-1 Austrian Piano	
Demo Songs					
–	S000–001	–	S000–001	EXs10: Ricky Lawson's "West Coast" Drums	
–	S000–002	–	S000–002	EXs13: Jazz Drums Expansion Kit	

KORG 株式会社コルグ
本社: 〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2
http://www.korg.co.jp/

© 2012 KORG INC.